



…データサイエンスコース…

《コーディネーター》 荒平高章（コース主任）、中島直樹、ディンダ・プラマント、宮崎武

▷ コースの概要

コンピュータの歴史は、ハードウェアの進化、ソフトウェアの充実を経て、今はデータの活用が中心となっています。企業はより良いサービスを提供するため、顧客の嗜好や行動に関するデータを収集し続けています。データは集めるだけでは意味がありません。それをどのように活用するかが重要になります。さらに近年は人工知能（AI）の台頭によって、高度な分析が可能となり、データ活用がより一層重要となってきています。「データサイエンス」とは、情報科学・統計学・アルゴリズムなどを駆使して、「社会にとって有益な知見」をデータから見出すための科学的なアプローチです。つまり、「社会を知ること」と「技術を得ること」が重要になります。

データサイエンスに求められるスキルは、大きく分けて①統計解析スキル②IT・AI スキル ③ビジネススキルの 3 種類です。①統計解析スキルは、数学知識・データ分析処理手法の知識・データ分析ソフトウェアの利用技術です。②IT・AI スキルは、IT および AI 知識全般・データベースの知識・プログラミングです。③ビジネススキルは、ビジネスに対する理解・論理的思考能力・文書作成能力・プレゼンテーション能力です。

▷ 養成する人材像

本コースでは、「データサイエンティスト」を養成します。データサイエンティストとは、データを分析しその分析結果を事業に活かす人です。多くの企業は、これまでに蓄積されたデータを企業経営に生かすことが重要だと感じています。具体的には、抱えている課題を解決したり仕事を効率化（AI による自動化）したり、顧客や組織に対する新たなサービスの提供など企業は様々なことを求めています。これらを実現するためにはデータサイエンティストの存在が不可欠です。企業の所有するデータを積極的に活用するために、多種多様な業種でデータサイエンティストの採用が増えています。

▷ 履修モデル科目の特徴

様々なデータを分析するための論理的な思考能力や統計解析スキル、データを処理するための幅広い IT 知識や AI に関する知識・技能、およびデータを活用して事業戦略の手法を導きだすためのビジネスに関する幅広い知識やプレゼンテーション能力を修得します。

▷ 資格について

データサイエンスのスキルに対応する資格は下記のとおりです。

①統計解析スキルは統計検定、②IT スキルと③ビジネススキルは IT パスポート、生成 AI パスポートなど多岐にわたります。また、本学における KIIS 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル・応用基礎レベル）を修得可能で、就職活動にも活用できます。